

チャレンジ
～挑戦～

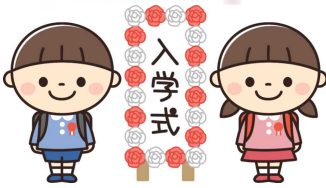


荒井小学校 学校だより

令和6年 4月10日
第 1 号
文責：校長 星 秀文

教育目標 「かしこく、やさしく、たくましく」

～今年度 創立150周年の荒井小学校～ ご入学 ご進級おめでとうございませす～



昨日の雨もすっかりやみ、校庭には子どもたちの入学・進級を祝うかのように桜が満開となっています。令和6年度がスタートしました。お子様のご入学、ご進級、誠にありがとうございます。151名の新しい船出です。

今年度は、荒井小学校創立150周年という記念の年です。3月に各町内会会長様にそれぞれ寄付金を集めていただき、おかげさまで目標金額を達成することができました。改めて荒井小学校が地域の方々から大切にされている学校であることを実感し、皆様の期待に応えられるようがんばらねばと身の引き締まる思いでした。そして子どもたちが大人になっても記憶に残るような一年間にしたいと思っております。今年度も全教職員一丸となって努力して参りますので、保護者の皆様のご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【令和6年度 第一学期始業式から抜粋】

全校生151名での令和6年度荒井小学校の新しい出発です。

さて、みなさん、荒井小学校の教育目標はわかりますね。「かしこく やさしく たくましく」です。校長先生は、一年前の始業式と入学式に教育目標の話をしました。今年は、教育目標を達成するために、全員に**3つの「魔法の言葉」**を伝えます。

それは「**ありがとう**」「**すごい**」「**できる**」です。

「**ありがとう**」は感謝の心を伝える言葉。みなさんが毎日学校に来ることができるのは、家族のおかげです。一日3度の食事をとることができるのも、食べ物を育てる人、料理してくれる人がいるからです。つまり、わたしたちはいろいろな人のおかげで生きることができています。育ててくれる家族、親切にしてくれる友達に「ありがとう」の言葉をしっかり伝えましょう。

「**すごい**」は相手を認め、褒めるときに伝える言葉。人と比べるのではなく、認め合いましょう。がんばっている友達、できないことができるようになった友達、自分よりもできることが多い友達には、心から「すごい」と伝えましょう。

「**できる**」は初めてのことにチャレンジするとき、自分にかける言葉。誰でも初めての時はドキドキします。心配になります。そんなときは、自分自身に「できる」と言いましょう。勇気がわいてきて、絶対できます。できたら自信がもてます。友達から「すごい」と認めてもらえます。たとえできなくても、がんばった姿に「すごい」と認めてもらえます。認めてくれた友達に、「ありがとう」と感謝の気持ちがあらわれます。

「**ありがとう**」「**すごい**」「**できる**」

この3つはお互いが感謝の気持ちをもって成長することができる言葉。だから「魔法の言葉」なのです。その積み重ねが、荒井小学校の教育目標である「かしこく やさしく たくましく」につながります。以上、この3つの言葉がたくさん響き合い、お互いに成長し合うことができる、明るく元気な荒井小学校の子どもになりましょう。

☆☆チーム荒井 教職員メンバーの紹介☆☆

今年度、以下の教職員で新組織のスタートを切りました。新体制になり、気持ちも新たに「チーム荒井」として全職員で一丸となって取り組んで参ります。改めて、保護者の方々に氏名と担当をお知らせいたします。

学年等	名 前	学年等	名 前
校長	星 秀文（ほし ひでふみ）	専科・IT	菅野 知子（かんの ともこ）
教頭	矢野 浩（やの ひろし）	養護教諭	杉山 恵梨（すぎやま えり）
教務主任	渡邊 匡郎（わたなべ まさお）	主事	丹治 惇美（たんじ あつみ）
1年	丹野 実紀（たんのみのり）	技能主査	高橋 秀一郎（たかはし しゅういちろう）
2年	高橋 博美（たかはし ひろみ）	特支協力員	加藤 孝夫（かとう たかお）
3年	藤原 梨恵子（ふじわら りえこ）	給食配食員	加藤 記子（かとう のりこ）
4年	佐藤 紀子（さとう のりこ）	給食配食員臨時代替	佐藤 恵美子（さとう えみこ）
5年	南原 怜奈（なんばら れな）	SSS	駿河 由美子（するが ゆみこ）
6年	小中 有子（こなか ゆうこ）	学校司書	齋藤 美佳（さいとう みか）
かがやき	武田 妙子（たけだ たえこ）	ST読書	丸野内 麻起子（まるのうち まきこ）
なごみ1	荻野 達也（おぎの たつや）	ALT	ステファニー・シムズ
なごみ2	高橋 直希（たかはし なおき）	ハートサポート 相談員	菅野かおり（かんの かおり）
専科	上田 和雄（うえだ かずお）		

～ リーダーシップ教育「リーダー・イン・ミー」 今年度より西信中学区で一斉に開始 ～

○リーダー・イン・ミーとは

自ら考えて行動できる「セルフリーダーシップ」、他者と協働できる「リーダーシップ」の両方を備え、人格を育むために「7つの習慣」を活用してつくられた学校文化創造プログラム

※「7つの習慣」とは

アメリカのユタ州立大学商経学部終身教授であり、リーダーシップ論の権威であるステューブ・R・コヴィー氏が、アメリカ合衆国建国以降に出版された、成功に関するあらゆる本を調べて考えた結果、成功に共通する習慣を7つにまとめたものです。著書「7つの習慣」は世界38ヶ国、合計4000万部発行され、ベストセラーとなっています。人生哲学の定番として、「7つの習慣」を学んでいる世界のトップリーダーも多いです。

この「7つの習慣」を学校教育に取り入れ、実践を行っているのが「リーダー・イン・ミー」であり、世界で6000校以上で導入・実践されています。

今年度より西信地区は、小中接続事業として「リーダー・イン・ミー」を取り入れます。「7つの習慣」については学校便り等でも、随時保護者の皆様にお伝えしてまいります。

「7つの習慣」とは

- 第1の習慣 「主体的である」
- 第2の習慣 「終わりを思い描くことから始める」
- 第3の習慣 「最優先事項を優先する」
- 第4の習慣 「Win-Winを考える」
- 第5の習慣 「まず理解に徹し、そして理解される」
- 第6の習慣 「シナジーを創り出す」
- 第7の習慣 「刃を研ぐ」